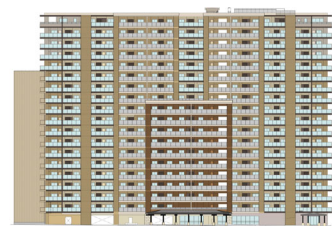


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フリーディア和白丘プロジェクト	階数	地上19F
建設地	福岡県福岡市東区和白丘1丁目17	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	564 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2021年9月3日
敷地面積	4,128 m ²	作成者	株式会社マサキ設計事務所
建築面積	1,230 m ²	確認日	2021年9月3日
延床面積	14,663 m ²	確認者	株式会社マサキ設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 87%

③ 上記+②以外の: 87%

④ 上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.5)

音環境	3.1
温熱環境	3.5
光・視環境	3.5
空気環境	3.7

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 3.1)

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化	3.5
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	その他 特になし	
Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級4を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー LED照明を採用する等、設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を設置して交通負荷抑制に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される